

△産業宣教 最初から神殿の祝福を持って生涯を始めなければ ならない (I サム 16:1-13、I 歴 29:10-14)	△レムナント伝道学 レムナントの力の通路 (ダニ 6:10)	△核心 神様が備えられた三つの力 (ダニ 1:8-9)	△散らされた弟子たち 巡礼者の力を持た なければ (使 1:1-8)
<p>□序論 どの国でも 10%の人々が国を動かしている。この人たちが必ず神殿を作って、ものすごい影響力を与えた。ここには観光、文化みな含まれている。それゆえ、今私たちがどこに関心を持つかが重要だ。その人たちが作った神殿(ユダヤ人のホロコースト、日本の神社、ヨーロッパの聖堂)には、考えを変えるほどのことが準備されていて、完全に暗やみ文化を広げてしまう。いま、私たちは「神殿の祝福」を持って始めなければならない。</p> <p>□本論 1. モーセ 1) 幕屋 (出 26:1) は臨時神殿だ。 2) 集まる会見の天幕 (出 27:21) だ。 3) 天幕 (民 17:1-7) は、遊牧民が牧者生活して住んでいる家だ。神殿のことを言うこともある。</p> <p>△神様が幕屋、会見の天幕、天幕を通して、すべての祈りと信仰、礼拝をすべてなさった。次世代が教会に来たとき、すべてをみな学ぶことができなければならない。カナンの地に入って行った人々は、神様とこの「方向」が合った人々だった。</p> <p>2. ダビデ-神殿 幕屋、会見の天幕、天幕を正しく見るように神殿を作った人がダビデだ。サムエルがダビデに油を注いだとき、契約の箱について伝え、ダビデは一生準備した。 1) I 歴 29:10-14 献堂式を先に 私たちは大きくても小さくても教会を作って、暗やみ文化を光の文化に変えなければならない。 2) ネヘ 4:1-23 神様はイスラエルが福音を悟って神殿再建の準備ができたとき、すべての時刻表をみな集められた。 3) ヨハ 2:12-22 (三つの庭) 三つの庭がなかったヘロデ神殿。ここをむち打たれたイエスをアンナスがばかにした。これに対し 2 千年間、イスラエルの次世代がのろいを受けた。</p> <p>3. パウロ 1) マルコの屋上の間教会 (使 2:1-47) が正しく始まり 2) アンテオケ教会 3) 黙 2:1-3:20 初代教会当時、光を照らした七つの教会</p> <p>□結論 <u>計画-働き</u> 私の中に神様の計画が働かれなければならない。「私たちの教会を通して、この地域にある暗やみ文化は、光の文化に変わるように献身する」これが重職者の祈りだ。 1. 伝道、病気、貧しさ-三つを祈って小さくしなければならない 2. 全国、世界 (仕える) -全国と世界が伝道運動するように私たちが仕えるべきだ 3. 237、いやし、サミット △私たちの全国世界の産業人は、教会中心にすべてをみなしなさい。私たちの生活、財産を教会中心にしなさい。次世代が見るように、私たちの足跡を教会に残しなさい。</p>	<p>□序論 ダニエルが死ぬようになったが、全く慌てなかった。「いつものように」この力を味わっていた。 1. 今日-最高 レムナントは今日が最高の日だ。「エルサレムに向かって」そうした。 2. 御座の力 いつもこの御座の力を味わったのだ。神殿に向かって祈ったとなっている。 3. サミットの答え 死ぬことになったり、答えを受けたり、関係ない。未信者が全く分かることができないサミットの答えを味わったのだ。</p> <p>□本論 1. 力の源泉 1) 三位一体-御座、光 (使 1:1-8) -永遠の前からとこしえまで、三位一体の神様と、この御座の力と、この光の力は常にあった。 2) ただ、唯一性、再創造 (使 2:1-47) -ここで、ただ、唯一性、再創造は出てくるようになっている。マルコの屋上の間で成就が完成されたのであって、本来からあった。 3) プラットフォーム、見張り台、アンテナ (ロマ 16:25-27) -プラットフォームができると他の人が来るようになって、この見張り台があるから、光を照らして他の人も生かすようになった。アンテナがあるから疎通もできる。これはローマ 16 章に、永遠の前において、とこしえまでであるとなっている。</p> <p>2. 力の通路 1) 幕屋 2) 神殿 3) 教会 △レムナントは、みことばの流れ、祈りの流れ、答えの流れ、伝道の流れを見れば、通路がなるようになっている。すべてが流れた。それゆえ、人間の行為のうちで最も貴重なことがあれば「礼拝」だ。</p> <p>3. 力の伝達 1) いやし-多くの人が、からだ、考え、心がほとんど病になっている。これを私たちがみことば、神様の力でいやしてあげるのだ。 2) わざわい-誰も分からないわざわいを止めることが、この力の伝達だ。 3) 変化-ほとんど過去に陥って、神様も知らずに、悪魔の子どもで仕えて、ある日、完全に暗やみにみな覆われて死ぬところだった私たちを変化させられたのだ。</p> <p>□結論 <u>やぐら</u> レムナントは、周囲の多くの葛藤と困難から抜け出しなさい。それ自体がやぐらだ。プラットフォームと見張り台、アンテナがあることがやぐらだ。レムナントは祈りのやぐらを作りなさい。 1. 3・9・3-これを祈りなさい。 2. 創 1:27、2:7-これを生かすように祈りなさい。私から生かすのだ。 3. 作品-この祈りの答えが来れば、全世界を生かす作品が作られる。</p>	<p>□序論 <u>昔-運命</u> 昔の運命からよく抜け出す人が信仰生活を良くすること <u>まず先に</u> 先になければならないこと</p> <p>1. 祈りのやぐら ダニエルが「心に定めた」とは、祈りのやぐらを作ったこと 1) 霊的世界 福音の中で見る霊的世界を見ることができる 2) 霊的存在 御座の祝福である霊的存在を味わうこと 3) 霊的事実 起こる霊的事実を見る</p> <p>2. 約束された契約をのがしてはいけない 1) イザ 6:13 「レムナントが起きなければならない」ダニエルが握った 2) イザ 7:14 これを握った 3) イザ 40:1-27 確かにみことばを与えられた「神のことは永遠に立つ」 4) イザ 60:1-22 「起きよ。光を放て」 5) イザ 62:6-12 「国々の民を生かすことができる旗を揚げよ。見張り人になれ」この契約を握ってどこへ行ったのか。</p> <p>3. バビロンに来たこと 1) 捕虜 契約をのがしたから捕虜なるしか 2) 神殿破壊 無駄なことを握って礼拝をささげるので、神殿は破壊されるしか 3) 高級公務員 ここに高級公務員として抜てきされた</p> <p>□本論 <u>神様がみなさんに与えようとすることを絶対発見すべき</u> 1. 永遠の前の問題について行くことが失敗 1) 3、6、11 ずっとついて行く。 2) イスラエル さらに問題は、イスラエルがこれについて行った 3) 教会 パリサイ教会もそうで世界教会が</p> <p>2. 三つ 1) Holy Mason (ダニ 3:8-24) 神様はみなさんを偶像を止めるホーリーメイソンと呼ばれた 2) Holy Leader (ダニ 6:10-22) 完全に王に答えを与えた 3) Holy Diaspora (エス 4:1-6) 散らされてしまったが契約を知っている人はホーリーディアスポラになる</p> <p>3. 永遠 1) 三位一体 2) 御座 3) 3時代 △その後永遠なことを握ること □結論 <u>イザ 7:14</u> 最も大きい祝福と力がインマヌエル 1. ネブカデネザル 2. ペルシャツアル 3. ダリヨス 4. クロス △神様が与えられたカー一つを持って王たちを変化させる</p>	<p>巡礼者の力 散らされた弟子たち巡礼者の力を育てるべき</p> <p>□序論 <u>目標-道しるべ、出会い、事件</u> △巡礼者は神様が導かれるとおりに。「わたしがあなたに示す地に行きなさい」</p> <p>□本論 <u>理由</u> 1. 真の力ではないこと (3, 6, 11) 知っている。 2. 真の力 (1-3-8) 3. 真の答え W10、24, 25, 00, OURS</p> <p>□結論 <u>神様</u> すべての結論、栄光は神様に、すべての答えは神様の働きで</p>

△区域メッセージ 征服者に与えられた3つの空前絶後の働きと私の24(ヨシ10:10-14)	△聖日1部礼拝/収穫感謝祭 収穫感謝の完成(使1:1-8)	△聖日2部礼拝/神殿建築献身礼拝 三つの祭りを回復する神殿を備えよう(使2:1-18)
<p>△普段に祈りの祝福を味わっていて、礼拝をささげに来る「私の24」はとても重要だ。ダニ6:10に見れば、ダニエルが死ぬことになったが「いつものように」と言った。ダニエルが突然に祈って、突然に力を受けたのではなく、続けて祈りの祝福を味わっていたのだ。このようなとき、私たちに「空前絶後の答え」が来るのだ。</p> <p>□序論 RT 7</p> <p>1・3・8 =三位一体-キリスト、神の国、ただ聖霊は、初めからあったが、イエスが来られて結論的に説明をされた。</p> <p>1. 奴隷-レムナントが奴隷に行ったが、エジプトへ行くのに、もっと良い機会はなかった。その二人がヨセフとモーセであった。三位一体の神様の働きである1・3・8の力を受ければ、奴隷を見る目が変わる。</p> <p>2. ペリシテ-ダビデとサムエルが見るときは、ペリシテは問題ではなかった。それですべての民をミツバに集めて偶像、のろいから出るようにした。ダビデの技術はペリシテを倒して、ペリシテに勝つ背景になった。</p> <p>3. アラム-イスラエルはアラムの国をいつも恐れたが、エリシャはアラムの国を生かしてこそ世界が生かされるということを知った。それゆえ、アラムの国で戦争を一番たくさん起こしたナアマン將軍をいやし、ドタン町の町で祈っていて、イスラエルを攻撃してきたアラムの軍隊を全部防いだ。</p> <p>4. バビロン-バビロンの捕囚になって行ったのが、本当に神様の力を証明する時刻表が来たことを見て、ダニエルと三人の青年、エステルも心を定めたのだ。</p> <p>□本論</p> <p>1. 時刻表危機、患難、宣教(迫害)</p> <p>△危機に会った時刻表に神様が働かれたのがマルコの屋上の間。ものすごい患難が起こったが、できた教会がアンテオケ教会。パウロがイエスを信じる人をつかまえに行き行ってキリストに会って、キリストを伝えに通うようになった。さらにチーム構成までして、パウロを殺そうとしたが、そのとき、宣教の門がみな開かれた。また、初代教会の個人をものすごく圧迫したが、これが宣教の門が開かれたのだ。このように、私たちは霊的な力を受ければ、みな生かされるようになる。</p> <p>2. 答え</p> <p>1) 絶対契約が見えれば確実だ。</p> <p>2) 行かなければならない絶対旅程が見えるのだ。</p> <p>3) 絶対目標-絶対行かなければならない道を行くのだ。</p> <p>3. 準備</p> <p>1) 神様が私を空前絶後の人として準備された。</p> <p>2) 空前絶後の働きをしなればならない教会として準備された。</p> <p>3) 神様が、職業が空前絶後になるように準備された。</p> <p>□結論_ロマ 16:25-27</p> <p>私たちの空前絶後はロマ 16:25-27 で見つける。私が必ずすべき「裏面契約」を見つかるのだ。</p>	<p>□序論 多くの信徒が答えを受けられずにいる。</p> <p>1. このとき、必ずすべき質問と見付なければならぬ答えがある。</p> <p>選ばれたイスラエルが7回のわざわいを受けた理由、2千年間、次世代が減びた理由、中世時代教会は復興したが、戦争はさらに多く起こった理由、アメリカとヨーロッパの教会が門を閉めて韓国教会の教会信徒が減少する理由</p> <p>2. サンクス・ギビングデイ(収穫祭)の奥義を間違えて理解したため</p> <p>1) 過越祭-出エジプトしたのが重要X → 「救い」意味</p> <p>2) 五旬節-50日後に刈りいれたのが重要X → 「聖霊の満たし」意味</p> <p>3) 収穫祭-倉庫に入れたのが重要X → 名前が御座に記された私たちに「天国の御座の背景」が与えられたという意味</p> <p>(1) 出2:10 神の子どもの身分として生きたモーセ</p> <p>(2) ガラ4:1, 3:29 キリストに属する者は、すべてを受け継ぐことができる</p> <p>(3) ロマ8:15 子としてくださる霊を受けた。</p> <p>3. 収穫祭の契約を実際に握るときに答え</p> <p>1) 祈りを変えるべき-三位一体の神様の力と御座の祝福、過去、今日、未来を完全に生かす3時代の契約が私に臨むように祈り</p> <p>2) これをイエスが40日語られた(マタ6:33, 10:7, 使1:3)</p> <p>3) 御座と天国の背景を祈るとき、たましいが生かされて、心、考えがいやされ、からだも生かされる。</p> <p>□本論</p> <p>1. この御座の力を本当に悟った人、四人が出てきた。</p> <p>1) モーセ-幕屋、三つの祭りの意味を分かった。霊的力を持ってエジプトの10の偶像と戦って勝利</p> <p>2) ヨシュアとカレブ-御座の力で紅海とヨルダンに分けて、エリコを崩す</p> <p>3) ラハブ-契約を握ってイスラエルに答えを与えた</p> <p>2. オリーブ山でこの奥義を語られたイエス様</p> <p>1) 使1:1(キリスト)、使1:3(神の国のこと)、使1:8(ただ聖霊)</p> <p>2) この中に三位一体の神様が出ている。</p> <p>3) 他のことは必要ない。ただ</p> <p>3. この契約を正しく悟った弟子がパウロ</p> <p>1) 使19:8 大胆に神の国について説明</p> <p>2) ローマを生かす答え</p> <p>3) 全世界に影響を及ぼしたパウロ</p> <p>□結論</p> <p>1. この契約を握って祈りを始めなさい-吸うとき、三位一体の神様、御座の力、3時代を生かす力。息を吐くとき、思い出す人に伝達</p> <p>2. 約束されたことを待ちなさい(イエス様の最後の約束)-聖霊に満たされるときまで。地の果てまで証人となるようにする、その力が臨むように待つのが、待つことの基準</p> <p>3. この祈りを礼拝のとき、24しなさい-考え、心のいやし-脳に刻印-たましい刻印このことは、運命を左右→地獄や御座とつながる→からだはその結果</p>	<p>経済を心配する方々は、福音の中で最も基礎から最も高いところへ、最も事実的でありながら御座のことへ行けば良い。三つの祭りを回復する神殿が神様の願いだ。</p> <p>□序論</p> <p>1. 三位一体、御座、時代(聖霊)-救われた者に三位一体の神様が御座の祝福でともにいると言われ、3時代を生かす聖霊の働きでともにいると言われた。</p> <p>2. 黙8:3-5 この約束を握ってする祈りは、みな入れられる。 詩103:20-22 天の軍勢動員(神様のみこころなら)、ルカ10:19 暗やみが砕かれる。</p> <p>3. 揺れなかった初代教会(理由を分かると)</p> <p>□本論_殉教-生きた殉教-神殿準備「三つの考え」</p> <p>殉教者は福音の種を植え、生きた殉教者は神殿を準備した。集まって殺されても祈ると定めた</p> <p>1. 殉教的献身-集い自体が殉教的献身</p> <p>1) ネフィリム神殿-今のことがネフィリム活動であり神殿であることを確信</p> <p>2) 神の国のこと-神の国のことを成し遂げる教会を建てる約束を確信</p> <p>3) 証人-行って証人になるという契約確信</p> <p>△三つのことを確信するので、この(序論)働きが起こった。</p> <p>2. 殉教的献身(重要なこと確認)</p> <p>1) 三つの祭り-過越祭、五旬節、収穫祭を正しく確認</p> <p>2) 使2:9-11 いろいろな国から来て、マルコの屋上の間教会に献身、三つの庭を作る</p> <p>3) 使2:43-45, 4:32-37 光の経済-実際のな献身</p> <p>△死ぬ覚悟して献身するので、この(序論)働きが起こった。救いが見えて三つの庭、光の経済がある教会準備</p> <p>3. 殉教的未来(使2:17-18)-いのちをかける価値がある殉教的未来</p> <p>1) 七つの星(黙2:1)-七つの星を握って金の燭台の間を通う方</p> <p>2) 最初-最後の方(黙2:8)</p> <p>3) 剣(黙2:12)-両刃の剣を持たれた方</p> <p>4) 目、しんちゅう(黙2:18)-目が炎のようで、足がしんちゅうのような方</p> <p>5) 御霊、星(黙3:1)-七つの御霊、七つの星を持たれた方</p> <p>6) かぎ(黙3:7)-ダビデのかぎを持たれた方</p> <p>7) 創造(黙3:14)-創造の根本</p> <p>△門を閉ざす教会を生かさなければならぬ。信仰と水準を高めてこそ神様が働かれる。偶像崇拜者は、代々引き継いで神殿を作る。ネフィリム文化を止める神殿を準備しよう。この(序論)目を開けて信仰だけがあれば良い。家系の暗やみ経済、病気、貧しさがみな崩れる契約を握りなさい。次世代に福音ではないことを伝達してはならない。</p> <p>□結論_正常を越えて、超正常に行かなければならない。 使1:8 聖霊の満たし</p> <p>やぐら-カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の間をやぐらを建てなさい。すべての回復。ただ!</p>